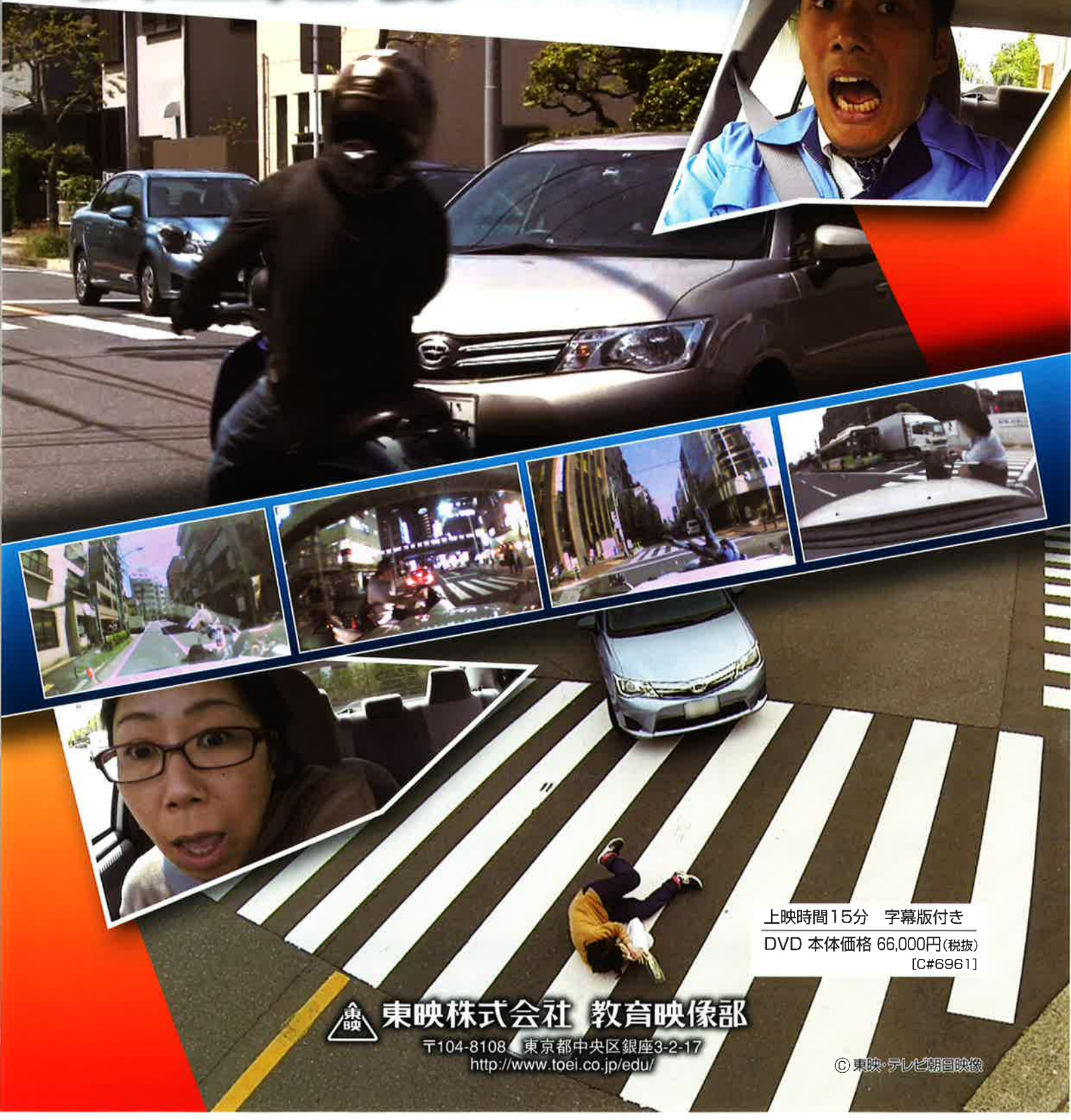


一般財団法人 全日本交通安全協会 推薦

ドライブレコーダーは見た! ドライバー心理から考える 安全運転



上映時間 15分 字幕版付き
DVD 本体価格 66,000円(税抜)
[C#6961]



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

© 東映・テレビ朝日映像

企画 意図

安全運転の基本は交通ルールを守ることです。しかし、交通ルールは知っているはずなのに、現実には事故は起きています。なぜでしょうか…。そこには、ドライバーの“こころの持ち方”が深く関わっているのです。このDVDでは、様々な事故の状況が刻み込まれたドライブレコーダーの映像と、その再現映像をもとに、ドライバーの心理に着目しつつ危険回避の方法を探ります。



解説 日本交通心理学会
主任交通心理士 島崎 敢

内容

解説は、日本交通心理学会・主任交通心理士の島崎敢さん。ドライバーが陥りやすい危険を指摘しながら、危険回避のポイントを具体的に解き明かします。

右折時のポイント①

右折しようとした車と、直進しようとしたバイクとの衝突事故。
⇒対向車の脇を走ってくるバイクの有無を確認していなかった。その背後に「早く行かなければ」という焦りの気持ちがなかったか？自分を客観的に見る必要があります。



右折時のポイント②

右折しようとした車と、右後方から来た歩行者との衝突事故。
⇒対向車ばかりに気をとられ、その周囲に注意が向けられなかったのでは？私たちは同時に複数のものに注意を向けるのは難しいが、時間をずらせばどちらにも注意することができます。確認する箇所と順番を決め、身体に覚えこませるのも有効です。



一時停止時のポイント

車と自転車との出会いがしらの事故。
⇒一時停止でしっかり止まり、交差する左右の道路の状況を確認することが大切です。



安全運転をするために

交通事故には、確認のし忘れや速度超過などの直接原因があり、その背後には、考え事をしていた、焦っていた、イライラしていたなどの背後要因があります。自分を冷静に見つめ、背後要因を意識するのも事故防止の重要なポイントです。



■映像提供：国立大学法人 東京農工大学

企画・制作・・・東映株式会社
テレビ朝日映像株式会社

2017年作品

お申し込み・お問い合わせは

一般財団法人 **全日本交通安全協会**

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-13 自動車会館ビル7F

☎050-3531-0571

各都道府県交通安全協会